

- 参加メンバー:7社 IKO JTEKT NACHI NMB NTN NSK JBIA(準会員)
- WGリーダー:百谷 JTEKT(中国)投資有限公司
- 2016年度会議開催:4回

2016年度の調査テーマ(1)

中国国際ベアリング展覧会監視

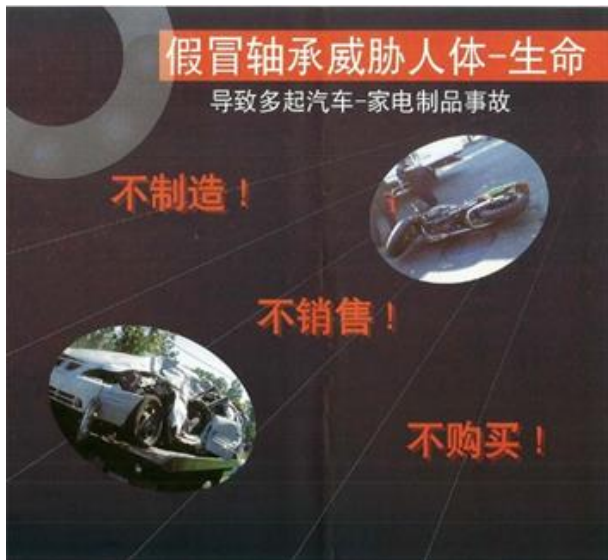
2016年度の調査テーマ(2)

ユーザーによる偽物購入への対応

中国国際ベ어링展覧会監視

- ◆ 中国国際ベ어링展は世界で唯一のベ어링関連のみの展覧会 中国名: 中国国際軸承及其専用装备展览会
 - 初回開催は1990年、日本企業も随時展示参加
 - 2003年、2005年にJBIAが展示参加、模倣ベ어링問題を展示
 - 2005年開催時、JBIAが主催者の中国軸受工業会と模倣問題を協議
 - 2012年、JETROの支援でWGメンバーの商標監視を実施

2005年のJBIA展示



展示パネルの一つ



中国語音声付ビデオの連続投影

中国国際ベ어링展覧会監視

◆ 展覧会監視準備

● 調査会社の選択

- 模倣ベ어링調査に経験があること
- 短期間(4日間)に集中して多くの調査員を動員可能なこと
- 多数の権利者に対し日本語による報告が即日可能なこと

● 監視対象の検討

- 商標と商号について、同一或いは類似を使用した販売行為、宣伝行為
- 対象物品は、ベ어링本体、包装、展示表示、カタログ、グリース

● 参加企業の募集(JBIA会員)

- IPGメンバー6社は参加、残りの30社に参加を打診(JBIA会員は36社)
- 参加形態は、次の2種
 - 疑義業者の追跡調査、摘発を目標⇒ 会員9社参加
 - 監視のみ(中国で商標未登録の企業も有り)⇒ 会員14社参加

➤ 結果: 会員23社参加

2016年度 ベアリングWG

中国国際ベアリング展覧会監視

◆ 第15回開催の概要

開催期間: 9月20日～23日 開催場所: 上海世博展览馆

展示参加企業: 約800社(海外企業、工作機械企業含む)

来場数: 約60,000人

会場1Fの日本企業ブース



会場3F



中国国際ベアリング展覧会監視

◆ 監視結果

疑義業者:

- 参加会員の商標を付したベアリング製品を展示:0社
 - 参加会員の商標をブースで表示:2社
 - 参加会員の商標を付した包装箱を展示:3社
 - 参加会員の商標を配布カタログ上で表示:5社
 - 注文に応じた刻印、包装箱印刷のサービス提供を口頭で宣伝:7社
 - 参加会員の類似商標:4社
 - 参加会員の類似商号:4社
 - 参加会員の商標使用件数:43件
- 注:参加会員とは前述のJBIA会員23社

評価:

- 模倣品のソース・ルート追跡が益々困難になる中、展覧会では上記の疑義業者が会社として実体を明らかにしている
- しかし、疑義業者の所在地に証拠のある可能性は低く、得られた情報を糸口に調査を深める必要あり

ユーザーによる偽物購入への対応

◆ 背景

- ユーザーが誤って模倣ベ어링を購入する件数、量が共に増大
- ユーザーがインターネット販売から模倣ベ어링を購入する事例の増加
- 大型の模倣ベ어링購入が増え、ユーザーの被害額が増大
- B to B商品であること
- 発見時の状況が様々、またユーザーの理解不足もあり対応が難しい
- まだ裁判になったケースがないため、製造者・ユーザーともに認識が甘い可能性がある

◆ 対応の研究

- 事例記載フォームを作成、WG内で事例をコンプライアンス遵守の範囲内で共有
- 事例についてWG内で意見交換
- マニュアルを自社作成するなど、ノウハウを各社がそれぞれ蓄積